

授業科目名	対象学科・専攻		年次	期別
特別支援教育	児童教育学科 初等教育学専攻		1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員	担当形態
講義	2	必修	三輪 研一郎	単独

科目	施行規則に定める科目区分又は事項等
教育の基礎的理解に関する科目	特別支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解

<b>○コアカリキュラム：特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解</b>	
<p>全体目標：通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。</p> <p>(1) 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の理解  一般目標：特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。  到達目標：1) インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解している。  2) 発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の心身の発達、心理的特性及び学習の過程を理解している。  3) 視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む様々な障害のある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難について基礎的な知識を身に付けている。</p> <p>(2) 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援の方法  一般目標：特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解する。  到達目標：1) 発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する支援の方法について例示することができる。  2) 「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置付けと内容を理解している。  3) 特別支援教育に関する教育課程の枠組みを踏まえ、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解している。  4) 特別支援教育コーディネーター、関係機関・家庭と連携しながら支援体制を構築することの必要性を理解している。</p> <p>(3) 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援  一般目標：障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。  到達目標：1) 母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性を理解している。</p>	

**【全体目標及び概要】**

通常の学級に在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児児童生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法について学ぶ。

個々の教育的ニーズを基本的な視点として、教育課程の編成、自立活動の内容や方法、幼児児童生徒が教科指導などの学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身につけていくことができるよう、個別の教育支援計画の作成や実践事例をもとにして具体的に学ぶ。

特別支援学校や特別支援学級での実際を知り、特別支援教育にかかわる教員の資質を考察する。

【一般目標及び到達目標】	目標対応
(1) 特別の支援を必要とする幼児児童生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。 1) インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを説明できる。	(1)-1)
2) 発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児児童生徒の心身の発達、心理的特性及び学習の過程を説明できる。	(1)-2)
3) 視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む様々な障害のある幼児児童生徒の学習上又は生活上の困難について基礎的な知識を身に付けている。	(1)-3)
(2) 特別の支援を必要とする幼児児童生徒の教育課程及び支援の方法を理解する。 1) 発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児児童生徒に対する支援の方法について例示することができる。	(2)-1)
2) 「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置付けと内容を説明できる。	(2)-2)

3) 特別支援教育に関する教育課程の枠組みを踏まえ、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を説明できる。		(2)-3)	
4) 特別支援教育コーディネーター・関係諸機関・家庭と連携しながら支援体制を構築することの必要性を説明できる。		(2)-4)	
(3) 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児児童生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。 1) 母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある幼児児童生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性を説明できる。		(3)-1)	
回数	特別支援教育 授業内容 【三輪研一郎】	到達目標の番号	コアカリキュラム対応
1	特別支援教育の歴史について学ぶ	(1) - 1)	(1)-1)
2	特別支援教育における対象となる幼児児童生徒について学ぶ	(1) - 2)、 (1) - 3)	(1)-2)、3)
3	障害児の理解 (1) 概念と就学基準について学ぶ	(1) - 1)、(1) - 2) (1) - 3)	(1)-1)、-2)、-3)
4	障害児の理解 (2) 心理と行動特性について学ぶ	(1) - 2)、(1) - 3)	(1)-2)、3)
5	特別支援教育の場について学ぶ	(1) - 1)、(2) - 1) (2) - 2)	(1)-1) (2)-1)、-2)
6	特別支援教育の教育課程について学ぶ	(1) - 2)、(2) - 3)	(1)-2) (2)-3)
7	障害児の教育支援 (1) 学習指導要領、指導計画の作成を理解する	(2) - 1)、(2) - 3)	(2)-1)、-3)
8	障害児の教育支援 (2) 自立活動、日常生活の指導を理解する	(2) - 3)	(2)-3)
9	障害児の教育支援 (3) 各教科、遊びの指導を理解する	(2) - 3)	(2)-3)
10	個別の教育支援計画をもとにした教育支援について理解する	(2) - 3)	(2)-3)
11	特別支援学級における教育の実際について学ぶ	(2) - 2)	(2)-2)
12	特別支援学校における教育の実際について学ぶ	(2) - 1)	(2)-1)
13	障害児のライフステージと特別支援教育について学ぶ	(1) - 3)、(2) - 4)	(1)-3) (2)-4)
14	障害はないが特別の教育ニーズのある児童・生徒の把握と支援を学ぶとともに、特別支援教育のこれからについて考察する	(2) - 4)、(3) - 1)	(2)-4) (3)-1)
15	特別支援教育にかかわる専門性について考察する	(2) - 4)	(2)-4)
定期試験	実施する		
成績評価方法	授業への取り組み・グループ討議への参加 (関心・意欲・態度) 30%、レポート (思考力・判断力・表現力) 30%、定期試験 (知識・理解) 40%		
テキストおよび参考文献	テキスト：『特別支援教育』山口短期大学 参考文献：『特別支援学校学習指導要領・学習指導要領解説 総則編 (幼稚園・小学部・中学部 (平成30年3月 文部科学省))』		
メッセージなど	特別支援教育の意義・内容・方法の学びを通して、教育環境のさらなる充実とみんなが幸せで豊かな人生を過ごすことのできる社会をつくりましょう。		

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1)-1) インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	10%
(1)-2) 発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児児童生徒の心身の発達、心理的特性及び学習の過程を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	課題レポート (思考力・判断力・表現力)	10%
(1)-3) 視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む様々な障害のある幼児児童生徒の学習上又は生活上の困難について基礎的な知識を身に付けている。	基礎的な知識をほぼ完璧に身に付けている。	大きな間違いがなく、基礎的な知識を身に付けている。	間違いはいくつかあるが、最低限の基礎的な知識を身に付けている。	身に付けていない	定期試験 (知識・理解)	20%
(2)-1) 発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児児童生徒に対する支援の方法について例示することができる。	支援の方法についてほぼ完璧に例示することができる。	大きな間違いがなく、支援の方法について例示することができる。	間違いはいくつかあるが、最低限の方法について例示することができる。	例示することができない。	授業への取り組み・グループ討議への参加(関心・意欲・態度)	20%
(2)-2) 「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置付けと内容を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	課題レポート (思考力・判断力・表現力)	10%
(2)-3) 特別支援教育に関する教育課程の枠組みを踏まえ、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	授業への取り組み・グループ討議への参加(関心・意欲・態度)	10%
(2)-4) 特別支援教育コーディネーター・関係諸機関・家庭と連携しながら支援体制を構築することの必要性を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	10%
(3)-1) 母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある幼児児童生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	課題レポート (思考力・判断力・表現力)	10%